

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス一色になってしまい、生徒の皆さんには大変辛い思いをさせてしまいました。残念ながら、新型コロナウイルス感染が収束する状況ではなく、安全なワクチンや治療薬などの開発が待たれています。感染者に対する差別的な発言、人権を傷つける行為などがなく、国民一人ひとりが相手への思いやりをもって日々の生活を送ることが求められています。生徒及び保護者の皆さんには、改めてしっかりとした感染防止策をお願いしたいと思います。

「ウイズコロナ」「アフターコロナ」という言葉をよく見聞きするようになりました。たとえワクチンが完成しても、これから、私たちは新型コロナウイルスと付き合っていかなければならないということ、そして、目の前の現実に、覚悟を決めてしっかりと向き合いなさいと私たちに呼びかけているように感じています。

「人類の歴史は感染症との闘いの歴史だった」と言われています。大袈裟ではなく、新型コロナウイルスは、数百年に一度訪れる歴史の転換点を私たちに提示し、新しい時代の扉を開こうとしているのかもしれない。

学校として、厳しい現実を踏まえ、今後どのように工夫すれば行事などが実施できるのかを充分検討しながら教育活動を進めていきたいと考えています。今年一年間よろしくお願ひいたします。

(校長 杉浦外美夫)

【大学入学共通テストに向けて】

A I 技術の進展やグローバル化、不透明な国際情勢など社会構造の大きな変化に流されず、たくましく生き抜く力や資質を身につけた人材の育成を目的として「入試改革」が進められています。大学入学共通テスト(以下、共通テスト)はその改革の一部とされており、「学力の3要素」を強く意識した問題が出題されるといわれています。

共通テストでは、これまでの知識・技能を問う問題に加え、思考力や判断力を測る問題が重視されており、実用的な文章や身近にあるものが題材として出題されるそうです。また、平均点はセンター試験時の60%から50%へ下がるとも言われており、全体的な難化が予想されています。

本校からは3年生308名(学年全体の65%)が共通テストに出願しています。受験会場は例年同様、金沢大学角間キャンパスですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策の関係上、先生方による引率が一切行えません。また、試験当日から遡ること2週間の体温測定とその記録表の持参、マスク着用の義務など厳戒態勢で行われる異例の共通テストとなります。試験当日の緊張感漂う独特の雰囲気の中、平常心を保つことは大変ですが、受験生諸君は自分を上手くコントロールし、実力を出し切ってほしいと思います。



【学力の3要素とは】

- ①知識・技能(従来の大学入試における中心)
- ②思考力・判断力・表現力
- ③主体性・多様性・協働性

今後は、②と③についても入試で重視し評価する流れがあり、受験生に対して面接・小論文・口述試験・課題の提出など複数の試験を課し、総合的に個人の能力を評価する傾向が増してきています。実際、今年の3年生の受験からすでにその傾向は出ており、高校生活における活動の取り組みや今後の抱負と課題を報告書として提出させる動きが見られました。

従来の知識や技能を身につける学習方法だけではなく、資料を基にどのように分析し自分の意見をまとめ、表現することができるかが重視されており、今後の入試の傾向が表れていのように思います。



システム手帳を活用しよう!

今年度から生徒一人ひとりに金沢高校のオリジナル手帳を持ってもらっています。日々、自分の感じたことを言葉に起こすという作業が自分の思考を整理し、記憶を定着させるのに有効とのデータも出ているそうです。手帳の活用が結果として、思考力や表現力、判断力などが求められる新しい入試への対策としても良い効果をもたらします。

これまであまり活用できていなかった生徒もこれを機にぜひ活用してください。

(進学指導部)